

# 18歳の本音

## 地域×高校で何が変わった?

THE 座談会

今春新たな道を歩み始める、日野高校の3年生6人を招き、高校生活を振り返ってもらいました。これから地域・高校・行政が手を取り合い、前に進んでいくためのヒントが見つかるかも!?



坪倉 直之さん (日南町)

北崎 <sup>たいが</sup> 虎雅さん (米子市)

圓山 広治さん (伯耆町)

白川 絵里さん (伯耆町)

名谷 侑紀さん (日南町)

塚田 奈々子さん (日南町)

助言者：権田正直 (日野町役場企画政策課長) / 時任芽生 (日野町移住定住コーディネーター)  
進行：片平誓子 (日野高校魅力向上コーディネーター)

間近で人のあたたかさを実感。  
日野高は一人一人が活躍できる場所だと思う

“日野町に来てよかった”  
地域との出会いが  
彼らを成長させた

まず、皆さんにとって、3年間の高校生活はどうでした? 楽しかったことなどを教えてください (片平)。

坪倉 学校祭や体育祭ですね。少人数だけど、みんな丸になれて楽しかったです。

北崎 私は、ひのっこ保育所での職場体験ですね。これがきっかけで子どもが好きになりました。

圓山 ふれあいまつりに参加して、おいしいそばを食べられたこと。実は、それまでそばが苦手だったんですよ(笑)でも、間近でそば打ちの様子などを見て、実際に口にしてみると、「こんなにおいしいものだったのか!」と。町内の飲食店と共同開発した、じゃぶそば (日野町の郷土料理「じゃぶ汁」にそばを合わせ

たもの)が無ければ、嫌いなままだったので、まさに地域との出会いに感謝です。

名谷 出会いと言えば、町

の人にあいさつをしたら、ほめられてあめをくれたことがあったな。小さなことかもしれないけど、うれしかった。

塚田 私は、郷土芸能部で、思いっきり神楽を舞えたことです。3年生のときは、大蛇おろちの役だったので、スサノオにたくさん切られました(笑)

白川 私は、1年生の時からやってきた生徒会での活動です。自主的に行動できるようになったし、楽しかったです。

—日野町に来てよかった? 全員 はい。人付き合いが良し、自分たちが住んでいるところより明るいイメージ。

北崎 人のあたたかさを実感しました。良い思い出ばかりです。

名谷 地域に高校があるおかげかも。

権田 授業で地域に出かけ、人と接することが多い。日野高校の特色の一つだと思いますよ。

圓山 私は、町だけじゃなく、日野高校に来てよかったです。生徒数が少ない分、みんなの顔や名前をすぐ覚

えられる。そこが自分にすぐ合っていて、3年間が楽しかったです。米子市内の高校だと、隣のクラスでも顔を知らないって聞きますし。北崎 同感です。一人一人が活躍できる場が多い。その分責任感も育つと思います。

商業コース：圓山・名谷、農業コース：坪倉・塔田  
白川 進学コースは、どうしても座学が中心になってしまっています。振り返ると、もう少し地域に出かける機会がほしかったですですね。でも、私は夏休み子ども教室への参加など、ボランティア活動を頑張ることで、自分からそうした機会をつくっていました。

—日野高校には、3つのコースがあります、その特色を生かし、成長できたと思う？  
※進学コース：北崎・白川

北崎 自分も、陸上部の活動で健康ストレッチ講座を開くことで、自主性や責任感が芽生えたと思います。

圓山 商業コースは、やはり日野高シヨップでの経験が大きいですね。店長を任せられたり、接客をしたりなど、人と話す機会が増えたことで、自然と社会のマナーが身に付いたと感じます。  
坪倉 農業コースは、畑仕事など労働が多いので、体力はもちろん忍耐力も育ちました。また、先生がいな

ここにできたつながりを自分の地域でも生かしてほしい  
どこにいてもふるさとや地域を支えてくれる人に

「私たちに起きた変化」  
自分の地域でかわっていき  
力に変えてほしい

—地域とのかかわりを通して、どんな高校になってほしい？  
名谷 地域の人と接する機会をもっと増やしてほしい。1年生の時から段階的に増やしていけば、地域も高校ももっと良くなると思います。  
圓山 (地域とかわることは) 初めは、嫌だったんです。でも、いろんな人と

話せるようになって、コミュニケーションの楽しさに気付いた自分がいます。高校には、それを特色として生かしてほしいです。  
時任 皆さんにとって、地域に日野高校があったから、いろんなつながりができたのだと思います。今度は、それを自分の地域で生かしてほしいです。皆さんの地元で変化がありましたか？  
塔田 郷土芸能部はいろんな地域で公演を行うのです

が、地元・日南町での公演をきっかけに、いろんな人に話しかけられるようになりました。  
白川 私も、商品開発などで、テレビや新聞に取り上げられたことで、話しかけられることが多くなりました。今までは、「あいさつして終わり」だったのが、そのような話題があることで、地域のひとの会話が楽しめるようになりました。  
片平 日野町では、高校や

行政のお膳立てがあるから、いろんなつながりをつくりやすいといえます。皆さんには、そうした経験を、自分の地域でかわっていき力に変えてほしいと願っています。

可能性は広がっている。  
それをどう生かしているか

—どうしたらもっと日野高が良くなると思う？

名谷 今持っている特色、農業や課題研究などの授業を発展させていくことだと思います。自分の好きなことを、地域の力を借りながら学んでいく。知識が広がるだけでなく、自分の成長にもつながると思います。  
北崎 部活動に力を入れ、県外から生徒を呼び込むことも必要だと思います。県外から人が入ってくることで、文化の交流が深まり、もっと高校が魅力的になるはずですよ。

片平 今は、インターネットを利用するだけで、県外だけでなく、世界ともつながるグローバルな時代を迎えています。中山間地域にある日野高校でも、大きな可能性を秘めているといえますね。  
圓山 自分を含め、今の若

い世代は刺激を求めています。いろんな地域や人とつながれば、地域も高校ももっと元気になると思います。

「ふるさとを思う心」  
どこにいても  
大切にしてほしい

—最後に、将来、日野町に住みたいと思う？

北崎 子育て環境としては、最高だと思います。でも、若者からみると、いろんな面でお金がかかる。ちょっと考えてしまいます。

坪倉 私は、生まれた場所は選択できないからこそ、地域を出て自分で一からつくり上げたいと考えています。  
圓山 将来的には故郷である伯耆町にUターンしたいと考えています。でも、どこにいても日野町を応援したい気持ちには変わらないと思います。

権田 若くして都会などに出て、そのまま定住してしまふ人は少なくありません。しかし、地域から出て支えてくれる人は必要です。こうして、高校生が地域と積極的にかかわる姿を見て、地域活性化につながるヒントが隠されていると感じました。